

## 小児（辛夷清肺湯・黄耆建中湯）

### 滲出性中耳炎に漢方薬が劇的に奏功した1例



4歳の女児です。  
平成30年2月から両耳に滲出性中耳炎になってしまいました。  
耳鼻科で通院治療中です。一進一退を繰り返し、ずっと内服薬を続けている状況です。  
令和1年7月の中旬に当院を受診されました。  
以前からカゼの時には漢方薬を飲んでくれていたお子さんです。  
鼻水がノドに流れ、咳が出る、ご飯も食べにくそうです。本人さんは元気です。  
まずは鼻水をコントロールして、カラダも元気にしていこうと作戦を立てました。  
辛夷清肺湯（しんいせいはいとう）＋黄耆建中湯（おうぎけんちゅうとう）を処方しました。  
1ヶ月後再診されず、6週間後に来られました。  
その間に耳鼻科で大変だったとお母さんが言われます。  
滲出性中耳炎がまだ治らないと耳鼻科の先生が言われ、治療を放棄されました（とんでもないことです）。  
そのため違う耳鼻科を受診し相談したそうです。  
そこでは、両滲出性中耳炎、いびきがひどい、扁桃肥大、アデノイド増殖もあり手術を勧められました。  
本人もノドと鼻が詰まり呼吸が苦しくて、横向きにならないと眠れない状態でした。  
その頃急に口から大きな痰の塊がゴボツと出ました。  
それ以来、鼻がスッキリ通って、呼吸が楽になり、よく眠れるようになりました。  
ウソみたいな話ですが、本当です。  
その後、耳鼻科の先生からの紹介で市民病院の耳鼻科を受診しました。  
両鼓膜は一部石灰化するものの鼓膜の色も良く、動きも悪くない、聞こえも良い、何と滲出液は全く消えていました！  
そのため手術適応はなく、保存的に治療すれば良いでしょうと言われました。  
お母さんが感激して当院に報告に来てくれました。良かったです。  
最近外来ではこの処方を使っていますが好評です。  
なかなか抜けない鼓膜の水を抜くには漢方薬を試してみてください。



### コメント

滲出性中耳炎は結構やっかいな病気です。新薬（西洋薬）で効かない方が相談に来られます。できるだけ抗生剤をダラダラと長期に飲まない。滲出液をなるべく早期に排除して鼓膜を守る、聴力の悪化を防ぐ努力をします。柴苓湯や今回提示した辛夷清肺湯と黄耆建中湯などを駆使しながら症状の軽減を図ります。

## 大人（加味帰脾湯）

### うつ病に加味帰脾湯が有効だった1例



48歳男性。  
1ヶ月前に職場の異動がありました。商品を企画、設計する部署から研究する部署に変わりました。これをきっかけに気分が落ち込むようになりました。  
受診時はご夫婦で来られました。  
食欲あり、不眠なし、冷えなし、軟便傾向、頭が重たい、憂鬱、不安になる。  
お子さんが当院に受診されており、時々薬を処方した既往があります。  
もともとが神経過敏な方で、物音にビクッとするタイプです。  
歯根舌あり、心下痞鞭（心窩部痛）あり、右胸脇苦満あり、両腹直筋の緊張が目立つ。  
精神科はすでに受診され、うつ病と診断され抗うつ薬が処方されていました。  
2ヶ月は休養が必要と言われたと。  
仕事を休んでいることが気になる、お子さんの学校の送り迎えをやっていました。  
自分で変に力が入っている感じがしますと。  
ももとの性格に合うと思われる桂枝加竜骨牡蛎湯（けいしかりゅうこつぼれいとう）とうつ病対策で加味帰脾湯（かみきひとう）を処方しました。  
2週間後再診。「薬は飲めたよ」6週間後再診。「家事をやってます」  
10週間後再診。「家事が楽しくなってきた。やる事が毎日あって楽しい。気分もいい、睡眠も良い、規則正しい生活ができて、朝起きられる。」  
花粉症が始まったので抗アレルギー薬を追加しました。  
13週間後再診。「調子良くて、明日から会社に復帰します。この1ヶ月は楽しかった！前向きになった。料理を作って食べすぎて7キロ体重が増えちゃった。」  
え？という印象でしたが、予想より早く社会復帰されました。  
漢方薬を1日2回で飲んでいけば調子が良いそうです。  
その後、異動先でお仕事をこなされており、特別に問題ないようです。  
精神科の薬は、そちらの先生と相談しながら減量、中止予定です。  
漢方薬を使って、症状の治りが早かった、精神科の薬の副作用が出にくい状態だったのが印象的でした。上手に使うと、こういうことも起きます。



### コメント

原則として「抑うつ状態」には漢方薬を使用しますが、うつ病で診療の中心が精神科であろうと思われるときは漢方薬を使用していません。  
今回の症例は「軽い抑うつ状態」から漢方薬を試してもらいました。  
2年経過した現在は復職していますが、精神科の薬は継続中です。漢方薬も1日1回内服中です。



## お知らせ

**岐阜市の漢方外来** 3月6日（土）、27日（土） 14:00-17:30

場所: 中島小児科（岐阜県岐阜市鍵屋東町2-1）この外来は『院外処方箋』となります。

### 小児夜間急病センター当番日

3月5日（金） 19:30-22:30（受付） 場所: 岐阜市民病院

### 休診のお知らせ

3月24日（水） 都合により休診します。